

# 科長の「言い訳と矛盾」 教えてくれてありがとうございます

① 1 2

2011. 2. 22 JR東海労東二運分会

本当は、甘い香りの「酒臭い」だったことが明らかになりました。お詫びし、その内容をお知らせいたします。

「とうにうん」第19号の一部について指摘がありました。その箇所は、『実際に近づいて臭いを嗅いだのは1人だけでした。その臭いも「酒臭い」ではなく「柿の腐ったような臭い」』ではなく、実は『柿の熟したような臭い』が正当だということのようです。

これは、「とうにうん」を見ていた東海労組合員に、運転科長が近づいてきて、腐った臭いと言っていない、「柿の熟した臭いがする」と言った、と教えてくれたそうです。

なぜ運転科長が、わざわざ教えてくれたのかは定かではありませんが、「柿の○○…」と言ったのは、私ですと正直に申し出ていただいたことと、やはり「酒臭い」とは言っていなかったことを教えてくれたことに感謝いたします。

心よりお礼を申し上げます。運転科長、ありがとうございました。

しかし、狼狽（ろうばい）しているとしか思えない運転科長の言い訳を、どのように見ようかと苦慮しています。考えられることは、  
①「酒気帯び」はでっち上げだということがバレそうになってきているのでは？

②でっち上げた時の判断ミスで、本社から問われているのでは？

③しかも、その責任の一切を背おわされているのでは？

④以下、省略 …

運転科長をして、乗務を降ろされた東海労組合員が酒臭くなかったことを証明してくれたことに、あらためて感謝します。

私たち東海労は、組合員を狙いうちにしたでっち上げ「酒気帯び出勤」を認めないし、許しません。でっち上げを理由にした不当処分も認めません。したがって、撤回を要求します。

「春は来る　しかし　気になる　老梅香」C D 頑 爺

